

清掃時、必要な物

- ・綿棒：市販のコットン綿球タイプ
- ・アルコール(エタノール)：無水エタノール（エタノール濃度 90%以上）
- ・容器：エタノールスプレー or 綿棒／ウエスに吹付ける容器（ハンドスプレーボトル）
- ・ウエス：布ウエス or ペーパータオル
- ・エアダスター：市販のエアブロー缶スプレー（高圧ガスタイプ）



清掃手順

- ・ボトル交換毎に通常清掃手順（手順 1～8）を行う。
- ・清掃終了後、動作確認（手順 9～11）を行う。
- ・動作確認において、噴霧量が改善しない場合はエアブローによるメッシュ洗浄（手順 12～16）を行い、再度動作確認（手順 9～11）を行う。

● 通常清掃手順

(手順 1:スイッチ OFF)



スイッチを左側へ摺動し、本体スイッチを OFF とする。

- ※ スイッチが硬い場合は無理に摺動するとスイッチが折れてしまうことがあります。スイッチが硬い場合は、手順 2 のスイッチの清掃をお願いいたします。

(手順 2:スイッチ部の清掃：スイッチ周辺汚損時のみ実施)



綿棒にアルコールを良くしみこませて、アルコールをスイッチの横にしみこませるようにして乾燥した薬剤をふき取る。

- ※ スイッチ部に薬剤が大量に付着すると薬剤が乾燥してスイッチが硬くなる場合があります。乾燥した薬剤をアルコールで溶かすことでスイッチが硬い状況が改善いたします。

(手順 3：清掃前噴霧量確認)



スイッチを右側へ摺動し、本体スイッチを ON とすると数秒後に噴霧する。清掃前の噴霧状況を予め確認しておく。噴霧状況を確認する際は、噴霧した薬剤を浴びないように噴霧口をのぞき込むような行為はしないようにしてください。

(手順 4：スイッチ OFF)



スイッチを左側へ摺動し、本体スイッチを再び OFF とする。

(手順 5 : 本体カバーの開放)



マイナスドライバーを本体下部から垂直に挿入し、本体カバーを開放する。

- ※ マイナスドライバーは必ず本体下部から垂直に挿入してください。  
マイナスドライバーを横方向から挿入すると、本体が破損しカバーのロックが効きにくくなってしまいます。

(手順 6 : 薬剤ボトルと電池の取り外し)



本体から電池ボックスと薬剤ボトルを取り外す。

(手順 7 : メッシュ部の洗浄)



本体内部よりメッシュ部を指で上側に押し上げたのち、アルコールを良くしみこませた綿棒で、メッシュ部中央（金属部中央）に付着した埃や汚れを取り除く。

(手順 8 : 目視確認)



目視にてメッシュ部中央（金属部中央）に汚れの付着のないことを確認する。

● 清掃後の動作確認

(手順 9 : 薬剤ボトルと電池の設置)



本体に電池ボックスと薬剤ボトルをセットする。

- ※ 電池の残量にご注意ください。消耗した電池を使用すると、噴霧が弱くなる、LED は点灯するが噴霧しない、などの症状を示すことがあります。

(手順 10 : 本体カバーのロック)



本体カバーを閉じて、本体カバーがロックされていることを確認する。

- ※ 本体カバーがきちんとロックされていない場合、薬剤ボトルと本体が正しい位置でセットされず、噴霧量が減少してしまうことがあります。

(手順 11 : 噴霧確認)



スイッチを右側に摺動することでスイッチ ON として、正常に噴霧されることを確認する。

※ 正常に噴霧されている場合、薬剤が筋状に噴霧されます。清掃前の噴霧量と比べ、噴霧量が改善しない、または改善度合いが低い場合はメッシュの目詰まりの可能性が考えられますので、手順 12～16 のエアブローによるメッシュ洗浄の実施をお願いいたします。噴霧状況を確認する際は、噴霧した薬剤を浴びないよう噴霧口をのぞき込むような行為はしないようにしてください。

● エアブローによるメッシュ洗浄

(手順 12 : メッシュ部のアルコール浸漬)



メッシュ部（金属部）にアルコールを浸し、2 秒間以上浸漬する。

(手順 13 : 綿棒によるアルコールの除去)



メッシュ部（金属部）を綿棒で軽くぬぐい、アルコールを除去する。

※ 手順 7 の清掃時のようにふき取り清掃を行う必要はありません。

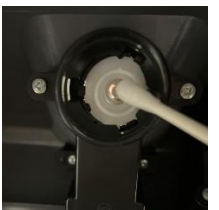
(手順 14 : メッシュ表面洗浄)



本体内部よりメッシュ部を指で上側に押し上げたのち、市販のスプレー式のエアダスターで 1 秒間、2 回メッシュ部中央（金属部中央）をスプレーする。手順 12～14 を 3 回繰り返す。



(手順 15 : 綿棒によるアルコール塗布)



綿棒にアルコールを良く浸し、メッシュ部（金属部）裏面を綿棒で軽くぬぐい、アルコールを塗布する。

※ 手順 7 の清掃時のようにふき取り清掃を行う必要はありません。

(手順 16 : メッシュ裏面洗浄)



本体内部よりメッシュ部を指で上側に押し上げたのち、市販のスプレー式のエアダスターで 1 秒間、2 回メッシュ部中央（金属部中央）をスプレーする。

・通常、本清掃手順により本体の噴霧量は回復致しますが、メッシュつまりや、メッシュ部の酷い付着汚れの場合は追加でのエアブローによるメッシュ洗浄が必要になる場合があります。

エアブローによるメッシュ洗浄後の、噴霧動作確認にて噴霧状態が十分改善しない場合は、再度エアブローによるメッシュ洗浄（手順 12～16）を追加で実施していただきますようによろしくお願ひします。噴霧状況を確認する際は、噴霧した薬剤を浴びないよう噴霧口をのぞき込むような行為はしないようにしてください。

以上